

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月17日

計画の名称	人と自然がきらめき安心して暮らせる生活創造都市光市の実現											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	光市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	287	A	287	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道整備率を71.8%(H27)から72.4%(H31)に増加させる。 下水道整備率 整備済面積(ha)/認可計画区域面積(ha)	718‰	‰	724‰
2	管渠に係る長寿命化計画策定率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。 管渠に係る長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済の計画数(数)/長寿命化計画を策定すべき計画数(数)	0‰	‰	1000‰
3	管渠長寿命化計画に基づく対策実施率を0%(H27)から32.4%(H31)に増加させる。 管渠長寿命化計画に基づく対策実施率 長寿命化計画に基づく対策実施延長(m)/長寿命化計画に基づく対策計画延長(m)	0‰	‰	324‰
4	下水道施設(ポンプ場及び管路)に係るストックマネジメント計画策定率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。 下水道施設(ポンプ場及び管路)に係るストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント計画策定済の施設数(数)/ストックマネジメント計画を策定すべき施設数(数)	0‰	‰	1000‰
5	ストックマネジメント計画に基づく調査・詳細設計の実施率を0%(H27)から66.7%(H31)に増加させる。 ストックマネジメント計画に基づく調査・詳細設計実施率 ストックマネジメント計画に基づく調査・詳細設計実施済の施設数(数)/調査・詳細設計を実施すべき施設数(数)	0‰	‰	667‰

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	光市	直接	-	管渠(汚水)	新設	周南処理区汚水枝線	7.5ha	光市						165	-	
	A07-002	下水道	一般	光市	直接	-	管渠(汚水)	新設	周南処理区污水管(幹線・枝線)	調査・詳細設計・事業計画策定・污水处理施設整備構想策定	光市						11	-	
	A07-003	下水道	一般	光市	直接	-	管渠(汚水)	改築	周南処理区污水管渠・マンホール(長寿命化)	長寿命化計画策定	光市						7	策定済	
		(長寿命化)																	
	A07-004	下水道	一般	光市	直接	-	管渠(汚水)	改築	周南処理区污水管渠・マンホール(長寿命化)	管渠・マンホール改築	光市						78	策定済	
		(長寿命化)																	
	A07-005	下水道	一般	光市	直接	-	管渠(汚水)	改築	周南処理区污水管(幹線・枝線)(長寿命化)	調査・詳細設計	光市						10	策定済	
		(長寿命化)																	
	A07-006	下水道	一般	光市	直接	-	管渠(汚水)	改築	周南処理区污水ポンプ場・管路(ストックマネジメント)	ストックマネジメント計画策定	光市						11	策定済	
		(ストックマネジメント)																	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
光市環境部下水道課内にて、事後評価を実施	事業終了後（令和2年度）
	公表の方法
	光市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備面積は938.8ha（平成26年度末）から963.8ha（平成31年度末）、整備率は71.8%（平成26年度末）から72.8%（平成31年度末）に向上したことにより、新たに7.8haの区域の水環境及び住環境が向上した。また、1.12kmの老朽化した管渠の改築を行い、安全・安心な下水道の維持を図った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き面整備管のうち主要な管渠の整備を促進し下水道整備率を向上させていくとともに、ストックマネジメント計画に基づき老朽化が懸念される下水道施設の老朽化対策を行い、安全・安心な都市環境の維持及び施設の持続的な管理・運営を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道整備率 整備済面積（ha）/認可計画区域面積（ha）	
	最終目標値	724‰
最終実績値	728‰	
2	管渠に係る長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済の計画数（数）/長寿命化計画を策定すべき計画数（数）	
	最終目標値	1000‰
最終実績値	1000‰	
3	管渠長寿命化計画に基づく対策実施率 長寿命化計画に基づく対策実施済延長（m）/長寿命化計画に基づく対策計画延長（m）	
	最終目標値	324‰
最終実績値	707‰	
4	下水道施設（ポンプ場及び管路）に係るストックマネジメント計画策定率 スtockマネジメント計画策定済の施設数（数）/ストックマネジメント計画を策定すべき施設数（数）	
	最終目標値	1000‰
最終実績値	1000‰	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
5	ストックマネジメント計画に基づく調査・詳細設計実施率 スtockマネジメント計画に基づく調査・詳細設計実施済の施設数（数）/調査・詳細設計を実施すべき施設数（数）	
	最終目標値	667‰
	最終実績値	667‰
		効率的な事業執行に努め、目標を達成した。